笑顔がつくる、はつらつ島根。

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート　2010.4 April vol.13

安心して働ける 互いに支え合う社会に

平成22年2月定例島根県議会が2月24日から3月17日まで開催されました。この議会では22年度予算、そして21年度から22年度につなぎ切れ目のない経済対策としての補正予算などが審議され、賛成多数で可決して終えました。この議会で私が取り上げた課題についての質問や新年度の予算について報告します。

労働条件確保に公契約条例を

長引く不況と構造改革の波に、労働者の収入は下がる一方です。公共事業においても、入札では最低保証価格など入札制度の改革にも取り組まれているにもかかわらず、賃金が低く抑えられています。

地元の建設業で働く人からは、経済対策といって仕事がたくさん発注されても、自分たちは忙しくなるばかりで、それに比べて給料は幾らも増えていないし、一時金はほとんどないという声をよく聞きます。経済対策として公共事業を実施しても、そこで働く皆さんの適正な賃金水準が確保されなければ意味がありません。

働く人たちが安心して働くことができる地域にし、若い人たちがこの地域に留まって働こうという気持ちを支え、行政として、生活するに必要な賃金水準の維持を図っていくためにも、公共事業に従事する人たちの賃金や労働環境をよくするための取り組みが求められています。

そのためには、県が発注する建設工事や業務委託の契約において、価格のほかに、賃金や労働時間などの適正な労働条件の確保、そして育児休暇など子育て支援に取り組む労働環境の整備を総合的に評価し落札者を決定する公契約条例の制定が必要です。

公契約条例の制定に取り組む考えはいかがか。

知事　現時点において条例を制定するということにはまだ至ってなく、今後の検討、研究課題と理解している。

障がい者の自立支援は

これまで、障害者就労支援事業所工賃向上事業によって、事業所に経営や商品開発、販路拡大などの相談や支援にかかわるアドバイザーの派遣、販路拡大員の設置などに取り組まれていますが、新年度、新たに工賃向上支援センターを設置し、商品の共同販売、人材育成、アドバイザー派遣などが実施されます。

工賃向上支援センター設置による今後の取り組みについて伺う。

健康福祉部長　工賃向上支援センターを設置して事業所のレベルや課題に合わせた具体的なアドバイス、協働による商品開発、販売、受注調整等を行う。また、複数の事業者が共同で生産設備やショップを設置する際の助成等も行っていく。

島根の子育て支援

国では、社会全体で子どもを育てていくという考え方から、所得制限を設けない形で子ども手当を創設し、高校授業料の無償化を実施します。そして、学費が多くかかる私立高校に対しても公立高校と同額の助成、さらには所得の低い家庭には上乗せをして、授業料負担軽減への支援が行われます。

少子高齢化社会にあって、子育て支援は政策の大きな柱の一つであり、次世代を担う子どもたちを社会全体で育む機運が醸成され、互いに支え合う社会を築く人間に育つ環境がつくられていくことを願うものです。

知事は、乳幼児等医療費助成の拡充や、さらには子育て支援プラス事業の充実など、子育て家庭への支援と地域で子どもを育てる仕組みづくりへの環境整備を新年度事業に盛り込みました。

知事は子育て支援についてどうお考えか。

知事　県民にとって、この問題は大事な課題。市町村が中心になってやるが、県としても子育てのさまざまなニーズに対応して、できるだけの支援をしていきたい。

3月4日一般質問に立つ

隠岐航路を議会で調査

中山間地域・離島調査特別委員会の県内調査として、離島航路等について隠岐四町村の関係者から実情などを聞く現地調査を行いました。

以前から隠岐航路は本土の国道と同じ、道路の整備には国を挙げて行っているのに航路に関しては支援が薄いということは言われており、隠岐選出の門脇議員も議会で何回も取り上げています。

隠岐は四つの島に分かれており、特に海士町・西ノ島町・知夫村のある島前と隠岐の島町のある島後の間の航路は、島前側に不利なダイヤです。冬場は便数が少なくなり、隠岐の島町での昼間の行事に出るのには前日の船で出かけ、夕方までかかるとその日のうちには帰れず、もう一泊しなければならないそうです。また、航空路があっても、島前では航空便の時間と船便の時間が合わず利用しにくいなどの課題が出されました。

案内板の不備や船内アナウンスの不十分さによって観光客が迷うことなど、すぐにでも対応できることなども提案されました。

離島に住む人たちにとって生活に密着した航路は命の綱でもあります。また、航路が使いやすく、負担が少なくなることが島内の産業の振興にもつながります。町長もこれからは今までの社会基盤整備を活かし、ものづくりに徹していく考えを示されましたが、そのネックとなるのは輸送です。なんとか、島民の皆さんの負担を軽くすることが必要です。

隠岐の島々を結ぶフェリーどうぜん

隠岐島の皆さんと意見交換

不登校の子どもたちへの支援

公立の選択制高校ができたとはいえ、それでもやはり通えない生徒はいますし、自分の生活スタイルや思いに合わせた学校が選べる環境をつくっていくことも必要です。今、私立高校や、あるいはNPOなどでも通信制を取り入れて、子どもたちの学ぶ意欲を支援していますが、NPO法人では学校法人でないために、なかなか支援が受けられないのが現状です。ましてや、今回、高校授業料の無償化が導入されても、ここに通う子どもたちはその恩恵を受けることがありません。

島根県でも不登校の子どもたちの高校教育を支援しているNPO法人などがあるが、どのように対応されているのか。

Tomachan Report

笑顔がつくる、はつらつ島根。

発行者 角 智子　〒690-0064島根県松江市天神町132
TEL.(0852)28-8880 FAX.(0852)28-8881
E-mail sumi@tomachan.net
U R L http://www.tomachan.net/

とまちゃん通信

教育長　不登校の高校生を支援する団体は、NPO法人で2団体、民間施設3団体ある。これらの団体は、11の市町にある教育支援センターが係わった支援等と補完関係を持ちながら活動してもらっている。

そこでは、不登校生徒に対して教科の復習やレポートの作成などの学習支援、将来の進路や心の悩みなどの相談などを行っている。こうした支援や相談を受けている生徒は約100名。

今後、NPOや民間施設等と引き続き情報の共有を積極的に行いながら、不登校生徒への適切な対応を行っていく。

公的建物内を全面禁煙に

国では、多数の人たちが利用する公共的空間については、原則全面禁煙を打ち出した。できるだけ早い時期に庁舎内の全面禁煙とされる考えは。

知事　禁煙の問題は社会全般、あるいは県民の皆さんの考え、国あるいはほかの市町村の動向などもよく注意をしながら、県としてたばこの影響が極力出ないよう、積極的に啓発し理解を求めていく努力をしながら適切な対応をとっていく。

タクシーや飲食店などの公共的空間の禁煙の範囲を広げることについてはどうか。

知事　上からの規制あるいは通知でなく、社会全般、あるいはタクシー利用者、飲食店利用者の考えが、社会の禁煙活動に大きく影響することを意識しながらこの問題に対応していかなければならないと考える。

自転車の安全走行対策

自転車の安全走行に向けた対策にどう取り組んでいるのか。

警察本部長　昨年、県内で自転車が加害者となった交通事故は、前年と同数の5件で、10月には19年ぶりに歩行者被害の死亡事故が発生。無灯火や2人乗り、傘差し運転などの危険走行が後を絶たない状況がある。

自転車の安全な走行を確保するためには、自転車の安全な利用を促進する広報啓発活動と、自転車や歩行者が安全に通行できる環境整備の2点が重要。

第一の広報啓発活動については、毎年5月に県民運動として自転車マナーアップ運動の実施や、警察署ごとに自転車の通行が多い地区や自転車事故の多発路線を指定し、学校や交通ボランティアと連携した街頭指導や交通安全教室を実施するなど、通行ルールの遵守とマナーアップの向上を図っている。

第二の環境整備については、道路管理者と連携し、自転車道の整備や自転車レーンの設置、また幅の広い歩道では、自転車通行位置を路面に標示するなどして、自転車や歩行者が安全に通行できる環境整備に努めている。これらの事業を平成19年度から自転車通行環境整備モデル地区として、県内2地区20カ所で重点的に実施をしている。

今後とも自転車の安全利用を促進する広報啓発活動を積極的に展開するとともに、自転車の安全な通行環境の整備を引き続き図っていく。

新年度予算について

5,355億円の島根県の22年度予算が成立しました。今回の予算の特徴は、前年当初予算5,271億円に比較して1.6%、84億円の増額で、前年度と同じく2年連続の増額になりました。この要因の大きなものは、経済対策を新年度も引き続き実施し、2月補正予算と合わせて切れ目のない景気・雇用対策として、260億円の補正と257億円の新年度予算の合計517億円が盛り込まれたことです。

また、約1兆円規模の一括交付金が地方の財源として確保され、島根県も139億円の財源増が実現しました。公共事業に係る補助金等が削減され、土木事業費も減少しています。なお、総務費や教育費の減少は、財政再建方針による人員削減や給与費抑制によるものです。

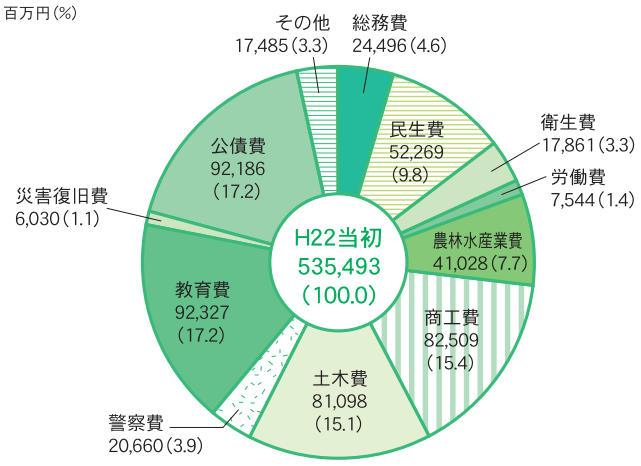
こうして増えた財源は、私たちが要望してきた医療の確保、子育て支援、福祉の充実、教育の充実などのほか、定住対策・中山間地域対策、産業振興、防犯対策などに重点的に配分されました。

今後、果たして「コンクリートから人へ」の県予算になっているのか注視していかなければなりません。たとえば、21年度予算でみると、当初予算から補正により増加した680億円の内の250億円余は土木費で、予算全体の構成比は当初の16.1%から18.5%と全体予算額に占める土木費の割合も増えており、公共事業費依存の体質から脱却できていません。

国では政権交代が実現しましたが、まだ地方議会では政権与党に属する議員は少なく、十分に力が発揮できていないのが現状です。

平成22年度当初予算目的別構成

単位：百万円(%)



22年度歳出予算 科目・目的別内訳

区 分	H21当初額	H22当初額	増 減	対前年度比
1. 議会費	1,026,726	997,249	▲ 29,477	97.1%
2. 総務費	25,571,167	24,496,388	▲ 1,074,779	95.8%
3. 民生費	43,315,088	52,269,287	8,954,199	120.7%
4. 衛生費	19,651,845	17,860,918	▲ 1,790,927	90.9%
5. 労働費	4,087,418	7,544,374	3,456,956	184.6%
6. 農林水産業費	41,489,600	41,028,247	▲ 461,353	98.9%
7. 商工費	78,553,639	82,509,344	3,955,705	105%
8. 土木費	84,978,938	81,097,656	▲ 3,881,282	95.4%
9. 警察費	20,485,789	20,659,588	173,799	100.8%
10. 教育費	94,260,801	92,326,447	▲ 1,934,354	97.9%
11. 災害復旧費	6,006,775	6,029,426	22,651	100.4%
12. 公債費	91,281,210	92,186,082	904,872	101%
13. 諸支出金	16,260,951	16,387,565	126,614	100.8%
14. 予備費	100,000	100,000	0	100%
	527,069,947	535,492,571	8,422,624	101.6%

岩田ひろたかさんを擁立

2月18日、民主党島根では、この夏に行われる参議院議員選挙島根選挙区候補として岩田ひろたか県連副代表を擁立することに決め、20日には民主党小沢幹事長を迎えて記者発表を行いました。

岩田ひろたかさんは、若さを活かし、自立と共生の島根を実現するために一生懸命まっすぐに取り組むことを約束され、小沢幹事長は、ここを参議院選挙の重点区として力を入れていくことを表明されました。

今、岩田ひろたかさんは県内を歩き回り、支持者拡大にむけて街頭での宣伝活動を行っています。

私も、朝の街宣活動に岩田ひろたかさんと一緒に立ち、また、あいさつに市内を歩き回っています。さすが元テレビアナウンサーなのでご存じの方が多く、皆さんのほうから声をかけていただくこともあります。

新しい政治をより確かなものにしていくためにも、少しでも多くの皆さんに参議院議員選挙島根選挙区予定候補としての岩田ひろたかさんを知ってもらい、支援の輪を広げていかなければなりません。

皆様の応援をよろしくお願いいたします。

岩田ひろたか予定候補と

女性のための政治スクール修了

今期1年間の「女性のための政治スクール」は半分しか通えませんでしたが、3月13日に修了式を迎えました。50人を超える人たちが登録していますが、皆さん忙しくいつも20人程度の出席者です。

特に東京まで出かけるには一日掛かりですから、なかなかスケジュールの調整が難しいですが、講師陣が政界や経済界など各界の著名人で意見交換もできる貴重な勉強の場です。来期も続けたらと思っていますが、島根県でも政治スクールを開講することになりましたし選挙もあり、ますますスケジュール調整が難しくなってきます。

円より子校長より修了証書をいただき、校長を囲んで修了生の皆さんと意見交換をして終わりました。円より子参議院議員は今年改選期にあたり、皆さんからのさらなる支援拡大に取り組んでおられます。ぜひ皆さんのご支持をよろしくお願いいたします。

修了証書を円より子校長より頂く

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 地球に優しい大豆インク使用